

第69回水戸地本定期大会

国労水戸

国労水戸地方本部
水戸市中央1-1-11
ENYビル2F
029-221-4008
発行責任者 久保田 重明
編集責任者 坂下 司

組織強化拡大へ

国労水戸地本は、10月14日〜15日に大洗において第69回定期大会が開催された。
大会は9月28日に衆議院が解散し10月22日、投票の選挙戦の中で行われた。
委員長挨拶、来賓挨拶、運動方針(案)、予算(案)を提起して1日目が終了した。

大会は埴副委員長
の司会で始まり、佐藤代議
員(土浦)が選
出され、エルダー、

本
体
職
場
の
労
働
条
件
改
善
で
組
織
拡
大
に
結
び
つ
け
よ
う
と
提
議
し
た。
塚
原



仲間の信頼
力を養って
この路をたどろう
組織の拡大へ

委員長挨拶

これからの国労組織の継承・将来展望を見据えた中での、労働条件改善と組織強化拡大に向け意思統一をしなければならぬ。安倍政権は野党から

の憲法第53条の召集を無視し衆議院は解散した。国民優先の政治へと取り組む必要がある。脱原発再稼働反対の取り組みは6年7ヶ月が過ぎても収束されない。福島の状態を全国に伝え風化させない。脱原発再生可能エネルギーへの転換を求め

る闘いを強めていく。組織強化拡大と国労継承は、関連会社への組織化が必要となる。職場での主導権をとり、働く仲間と共有出来たとき一歩前に進める。安全安定輸送と労働条件の改善について、事故や重大インシデントが発生している。職



場の要求統一に向け、安全職場総点検運動の強化をしていく。

委員長の挨拶、来賓から順次挨拶を受けた。

国労本部菊池委員長から、組織拡大はまったなしの状況で、エルダー組織をどうしていくのか一緒に議論していく。選挙戦がはじまり護憲の候補者のお願ひ、核兵器廃絶に向けた運動について報告した。

国労東日本本部伊藤書記長より、大会での政治、職場実態、労働条件改善、組織拡大、安全問題について

報告した。

エルダー制度の改善、来年度、本体の業務範囲拡大、精勤手当の改善の要求をしている。

年末手当は12月1日支払い、3・5ヶ月で、JRの実績に對して要求をしている。グループ会社に對しても同様である。

若手からの不平・不満・悩みを聞き、職場を良くしていくこととする。労働組合・国労の必要性が組織拡大へと結びついたと挨拶した。

来賓挨拶

- 日本労働組合連合会
- 民進党茨城支部連合会
- 参議院副議長
- 社民党茨城県連合
- 自治労茨城県本部
- 茨城県教職員組合
- 茨城県農業協同組合
- 鹿島臨海鉄道労働組合
- 鉄道退職者の会水戸地連
- 東北労金平支店
- 労金水戸店
- 茨城県平和擁護県民会議
- ひたちなか市議会議員
- いわき市議会議員
- 国労本部
- 国労東日本本部
- 国労会館
- 全交運共済
- 和田 浩美
- 藤田 幸久
- 郡司 彰
- 堀江 恵子
- 千歳 益彦
- 吉田 豊
- 野中 弘明
- 山本 敏明
- 斉藤 勝恵
- 下斗米 広実
- 川又 光森
- 鈴木 博久
- 井坂 章
- 狩野 光昭
- 菊池 忠志
- 伊藤 隆夫
- 佐藤 正幸
- 松井 正義